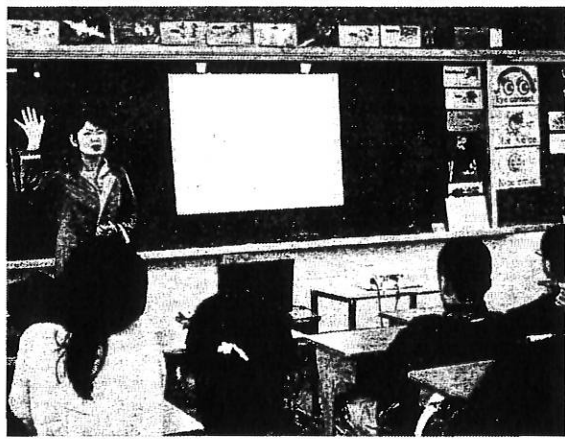


淡水フグ 飼育のヒント

ニフレル千里第二小児童に 吹田

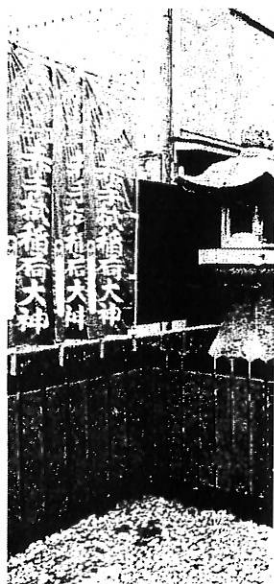
地元・吹田市の小学校に、国内で初めて繁殖に成功した淡水のフグ「パオ・スパッテリー」を提供している「ニフレル」が、キュレーター(飼育員)の棚田麻美さん(31)を市立千里第二小学校(同市千里山松が丘)に派遣し、飼育委員会の5、6年生に生態や注意点などを話した。

ニフレルが地域との結びつきを強め、子どもたちに命を感じてもらう目的で取り組むプログラムの一環。既に6校にパオ・スパッテリーを贈った。キュレーター(飼育員)の棚田麻美さん(31)を市立千里第二小学校(同市千里山松が丘)に派遣し、飼育委員会の5、6年生に生態や注意点などを話した。



子どもたちに、淡水フグの飼い方を説明する棚田さん

話をしてきた。今では人を見ると寄ってくるほど慣れている。棚田さんはパオ・スパッテリーの成長過程を説明。「よく観察しよう」などとポイントを話した。質疑応答では「オスとメスの見分け方は」などの質問があり、棚田さんは「繁殖期にメスが白く変色するが、見分け方はまだ分かっていない。観察が大発見につながるかも」と答えていた。



拭稲荷の門前に荒物屋があったが、稲荷がそんななか歴史が古い赤手拭神社。社は空襲で焼け、戦後再建された。いずれも大阪市浪速区稲荷2で

西成の児童施設の日常 描く

大阪・西成の児童施設「こどもの里」の日常を描いた映画「さとにきたらええやん」の上映会が17日午後6時40分、豊中市野田町4の市立ローズ文化ホールで開かれる。こどもの里は地域のこともちの集いの場。1977年に生まれ、0歳から20歳くらいまで、学校帰りに遊びに来る子、一時的に宿泊する子、家庭の事情で親元を離れて



映画「さとにきたらええやん」の一場面。©カローパイルメンテライコ

「さとにきたらええやん」17日 豊中で上映会

いる子らを受け入れてきた。映画は、大阪出身の重江良樹監督がボランティアとして通い始めてから7年をかけて制作、「子どもの居場所とは」と問いかける。施設長の荏保共子さんの講演もある。一般1200円(前売り1000円)、中高生600円(同500円)、小学生以下は無料。前売り券の予約・問い合わせは、居場所ぐーてん(06・6842・7129)。

【反橋希美】

Doスポ おおさか

◇第32回吹田東部ジュニア少年野球大会(3日) 【準々決勝】浜一タ イ・高野台グラウンドほか
◇毎日新聞社、毎日クワイヤーマountain

- ニース21
- ラアム池田
- 13千里丘
- ◇堺軟式大会(4日 球場) 11 毎
- 【A級準
- 央病院31
- 1▽堺市消
- ee Ma
- 【E級決
- ラア70
- icken
- 【D級準
- リンス81
- ンゲダム
- 【C級準
- グス413
- 【B級準
- ク・ナイフ
- 大阪ベイ
- 協和クラブ
- ◇第37回
- 大会(少年
- 中泉尾クラ
- 日新聞社後
- 【準決勝
- ロングス5
- コンドルス

出会いみじめる

おおさか